



第 53 号
2010 年 5 月 15 日
LET 九州・沖縄支部事務局発行
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1-1
北九州市立大学 長加奈子研究室内
TEL 093-695-3249
E-mail: secretariat@jlet-ko.org
編集: 柿元悦子・田上優子・事務局

外国語教育メディア学会 (LET) 九州・沖縄支部長に就任して



LET 九州・沖縄支部長

島 谷 浩 (熊本大学)

支部設立 40 周年を迎える 2010 年という節目の年に、LET 九州・沖縄支部の第 6 代支部長に就任いたしました。2009 年度の第 5 回支部運営委員会での選挙において、支部長に選出され、年度末に大津敦史前支部長より支部メーリングリスト上で配信していただいた稟議書により、新年度の支部役員とともに承認されました。この支部メーリングリストを使った役員承認は、今回初めての試みでしたが、年度末に支部総会を開催する余裕もなく、6 月の支部大会中に開催される支部総会まで役員承認を待つのも円滑な支部運営に支障をきたすということで、3 月 27 日の第 6 回運営委員会で急遽決定したことでした。4 月はじめに、支部役員全員が承認され、順調に新体制がスタートすることになったことは、大変意義あることだったと思います。

今年は、本学会設立 50 周年を記念して、記念誌が発行されることにもなっています。九州・沖縄支部は、全国研究大会と本部ニューズレターの 50 年の記録をまとめる担当となり、私は編集委員として、本部ニューズレター 50 年の歴史を振り返る機会を持ちました。その仕事の中で印象に残った丹羽義信 LLA 第 5 代会長が

述べられていた LLA の三つの特徴を紹介させていただきます。「語学ラボラトリー学会通信 No. 47・48 合併号(1988 年 11 月)」の巻頭言にあった原文は英文ですが、要約すると次のようになります。

- 1) 中・高・短大・大学の教員は、すべて同等の参加資格を持つ。
- 2) 英語ばかりでなく、あらゆる言語が対象となる。
- 3) 機器と人間の内面を結び付ける方法を研究する。

丹羽先生は、さらに日進月歩の技術を教育にどのように取り入れていくかを決定することが重要な責務であり、そのためにも、本学会が、教員ばかりでなく賛助会員企業からも構成されている意義は大きいと述べられていました。

1)については、中・高の先生方の参加を、さらに増やすための方策を考えていきたいと思っています。小学校での外国語活動が必修となる学習指導要領が告示され、ほとんどの小学校で英語活動がスタートした今日では、早期英語教育を研究・実践される先生方のご活躍もおおいに期待しております。

2)については、残念ながら、英語以外の外

国語の教育担当者の参加は、年々少なくなっています。本学会の名称に「外国語」がある意義を再認識して、英語以外の外国語教育関係者の参加を増やすことにも努力したいと思っております。

3)は、まさに本学会が教育メディアを専門的に研究する学会であることを示す特徴です。本学会は、1999年の総会で、LLA(語学ラボラトリー学会)から現在のLET(外国語教育メディア学会)への名称変更が承認され、視聴覚機器からコンピュータを備えたCALLやインターネットなど、メディアを利用した外国語教育を研究・実践する学会として再定義された訳ですが、今年はLETへの改称後の10年を振り返る時期にもあたります。コンピュータ等のデジタル機器の発達は目覚しく、我々の日常を大きく変え、教育も大きく変わってきました。しかし、コンピュータなどの機器利用へ抵抗感を抱く教員・学習者が依然として存在することも事実です。私は、ますますの研究活動の推進は当然ですが、2001年より休眠中の支部主催の講習会を復活させるなどの工夫をして、LET九州・沖縄支部全体でできる社会貢献も推進させたいと思っております。

今年3月に退任された木下正義LET第10代会長と大津敦史第5代九州・沖縄支部長は、2008年に開催された第3回WorldCALL福岡大会準備の先頭に立ち、大会成功のために尽力されました。木下会長在任の4年間(2006年4月～2010年3月)は、本支部はLET本部としての機能を併せ持っていましたが、武井俊詳先生(2006年4月～2007年3月)と石井和仁先生(2007年4月～2010年3月)は本部事務

局長としての激務に耐えられました。九州・沖縄支部からはじめてLET会長に選出された木下会長を、多くの会員が協力して支えた4年が終わり、肩の荷がおり、ほっとしておられる先生方もおられるのではないかと思います。LET本部の重責を担われた先生方、また本部を支える支部を守った先生方、本当にお疲れ様でした。

私の支部長任期となるこれからの2年間には、特別な大仕事はなさそうですので、とりあえず支部の発展につながる改革をこつこつと進めていこうと思っております。すでに、支部研究プロジェクトの隔年募集を毎年募集に変え、他支部会員との共同研究が円滑に進むように支部紀要執筆規定や支部研究会の規定改定に着手しています。また、支部大会の電子版プログラムを支部メーリングリストで配布し、大会要綱をA4版にするなど、“Small changes can make a big difference.”の精神で、小さな変革を進めております。会員の皆様にも、学会運営に対して積極的に声をあげていただきたく思っておりますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

支部設立40周年を記念した第40回支部研究大会が、いよいよ来月に迫ってきました。大津前支部長が2年にわたって計画され、現在は、大会実行委員長として新生ハウステンボスを会場とした40周年記念大会の陣頭指揮をとっておられます。ぜひともこの歴史的なイベントにご参加いただき、LET九州・沖縄支部の過去・現在・未来を熱く語りあっていただきたいと思います。

支部長としての4年間を振り返って



大津 敦史 (福岡大学)

LET九州・沖縄支部の皆様、平成22年3月31日をもちまして支部長の任を終えることになりました。思い起こせば、2005年4月より2006年の3月まで、勤務校より1年間の在外研究の機会を得て、ハワイ大学マノア校で勉強させていただきましたが、その2006年早春に開催された支部運営委員会より、第5代支部長に選出されたとの知らせが届きました。「青天の霹靂」とは真にこのことで、福岡に戻ってからのことが大層心配されたものでした。実は、それより遡ること数カ月前、当時のLET会長であった大八木先生からも、2008年WorldCALLの開催地が福岡に決まったとの連絡を頂戴しておりましたので、その重なる朗報(労報?)に対する心配と不安を胸に、ハワイでの残された日々を過ごしました。

福岡に戻る3月末をめどに、運営委員の先生方の協力のもと、支部事務局をご担当いただける先生をメールを利用して四苦八苦しながら探し求めました。しかしながら、私の人徳の無さが災いし、適当な方が見つからないままの帰国となってしまいました。帰国後すぐ、6月に予定されている第37回支部研究大会(会場:九州産業大学)の準備に明け暮れることになりました。事務局不在のままの大会準備でしたが、大会

実行委員長である柿元悦子先生(九州産業大学)と経験豊富な柴戸直善氏(西南学院大学)の協力を得て、どうにか無事乗り切ることができました。その後、柿元悦子先生と竹野茂先生(宮崎公立大学)のご好意で、お二人に支部事務局をご担当いただくことになりました。また、同じ年の10月には、ノースカロライナ大学の久保田竜子先生をお呼びし、LET九州・沖縄支部 & JACET九州・沖縄支部合同主催による秋季学術講演会を開催しました。演題は、“Culture in English Language Education: A Critical Approach”でした。

2007年6月には、樋口晶彦先生(鹿児島大学)を実行委員長として、第38回支部研究大会(会場:鹿児島大学教育学部)を開催しました。基調講演では、当時のLET会長である木下正義先生(九州国際大学)より、「韓国・中国から学ぶ英語教育について」と題する貴重なお話をお聞きできましたし、特別講演では、大谷泰照先生(名古屋外国語大学)をお迎えし、「我々は、なぜ歴史に学ばないのか - 日本の異言語教育を考えるために - 」と題した興味深い講演を頂戴しました。同年12月、些か季節外れで開催した秋季学術講演会では、権五

良 (コン・オリャン) 先生 (ソウル大学) より、“Teaching English in Korea: Current Issues and Challenges”と題する講演を賜りました。

2008年6月に開催した春季学術講演会では、相川真佐夫先生 (京都外国語短期大学) より、「アメリカ合衆国の外国語教育からみえるもの」と題する講演をお聞かせ頂きました。そして、8月5日～8日の期間、あの WorldCALL2008 世界大会 (in 福岡) が開催されたことは、まだ皆さんの記憶に新しいのではないのでしょうか。Kyushu-Okinawa Local Organizing Committee (通称 KOLOC: 何という懐かしい響き!) を組織し、日々大会準備にいそしんだ経験は、私の人生の貴重な 1 ページです。同年 11 月の秋季学術講演会では、今村洋美先生 (中部大学) と高木亜紀子先生 (大阪教育大学) をお迎えし、「教員免許更新制と今後の課題 - 英語現職教員対象全国調査結果に基づいて - 」と題する講演をお聞かせ頂きました。

2009年6月、小川直義先生 (長崎県立大学) を実行委員長として、第 39 回支部研究大会 (会場: 長崎県立大学シーボルト校) を開催しました。特別講演として、中野美知子先生 (早稲田大学) より、「早稲田大学の語学教育 3 段階と ICT の活用」という

大変示唆に富む実践報告をお聞かせ頂きました。同年 11 月の秋季学術講演会では、小林美代子先生 (熊本大学) をお呼びして、「いま言語評価を考える」と題する講演を賜りました。

この 4 年間、以上のような支部研究大会や講演会そして WorldCALL の如き国際大会を開催する度に、常に傍にいて、熱いご声援と多大なるご協力を与えて下さった歴代副支部長の石井和仁先生 (福岡大学)、山内ひさ子先生 (長崎県立大学)、樋口晶彦先生、島谷浩先生 (熊本大学)、そして非力な支部長を陰で支えて下さった支部事務局の柿元悦子先生、竹野茂先生、坂元真理子先生 (鹿児島工業高等専門学校)、またいつも長い運営委員会に耐えて様々な案件をご審議頂いた運営委員の先生方に、本紙面をお借りして、心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。支部長就任当初、いくつかのマニフェストを掲げながら、何一つ十分に果たすことができませんでしたが、後は若き新支部長である島谷浩先生に全てを託し、エールを送りたいと思います。それでは、LET 九州・沖縄支部の発展と支部員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

新事務局就任の挨拶

長 加奈子（北九州市立大学）

2010年4月1日より、竹野 茂先生、坂元真理子先生から引継ぎ、支部事務局長を勤めさせていただくことになりました。支部のみなさまにとって、より有益で実りある活動の場を支部が提供できるよう、またLET九州・沖縄支部の運営が円滑に進むよう、微力ではございますが島谷支部長を支えて尽力させていただく所存です。至らぬ点も多々あるとは存じますが、どうぞよろしく願いいたします。今年度は、支部設

立40周年、学会設立50周年を迎える記念すべき年にあたります。支部研究大会は支部設立40周年を記念する記念大会として長崎県ハウステンボスで、また全国大会も学会設立50周年を記念する記念大会として8月に横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校で開催されます。一人でも多くの支部会員の先生方に、ハウステンボスで、また横浜でお会いできますことを楽しみにしております。

事務局からのお知らせ

【第40回LET九州・沖縄支部研究大会(支部設立40周年記念大会)】

第40回支部大会の開催まで1ヶ月を切りました。大会に参加される方は5月20日までに以下のリンクよりご登録をお願いいたします。 [参加登録はこちら](#)

日時：2010年6月5日(土)

場所：長崎県佐世保市ハウステンボス内 ユトレヒト

プログラム:

10:00～	受付・登録	15:00～16:40	研究発表・
11:00～	展示		企業プレゼンテーション
13:00～13:20	開会式	16:40～17:00	コーヒープレイク
13:25～14:25	特別講演	17:00～18:10	テーマ別セッション
14:30～14:50	支部総会	18:50～20:30	懇親会

【第 50 回 LET 全国研究大会】

LET50 周年記念全国大会が、2010 年 8 月 3 日～5 日 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校にて開催されます。大会テーマは「外国語教育とメディアの更なる共生を目指して -LET 50 年からの提言」です。詳細につきましては以下のリンクより大会ホームページをご覧ください。 [全国大会ホームページ](#)

【新会員(支部移動を含む)】

2009 年 11 月 1 日以降(50 音順)

<正会員>

井ノ上憲司 (長崎大学)
伊藤彰浩 (西南学院大学)
上村隆一 (北九州市立大学)
Tyesen, Kevin (鎮西学院高等学校)
寺嶋弘道 (立命館アジア太平洋大学)
与那覇恵子 (名桜大学)

<学生会員>

畑 志穂美 (福岡教育大学)

【会費納入のお願い】

LET 九州・沖縄支部の 2010 年度会費振込用の振込用紙を送付させていただいております。個人会員・団体会員は 6000 円、学生会員は 3000 円のお振り込みをお願いいたします。また、2009 年度までの会費をまだ納入されていない会員の方は、お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします。未納の状態が続く場合には支部からの発送物を停止させていただく場合がございます。支部の円滑な運営の為にもご協力をお願いいたします。なお住所・所属等に変更が生じた場合には、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくとともに、会員 ID システムにより LET 本部ホームページからの変更も忘れずに行なっていただきますようお願い申し上げます。

【LET ホームページ】

<LET 本部> <http://www.j-let.org>

<LET 九州・沖縄支部> <http://www.j-let-ko.org/>

【LET 九州・沖縄支部事務局】

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-1
北九州市立大学 長 加奈子研究室内